



和泉市胃がん（内視鏡検査）検診のご案内

この度、和泉市胃がん内視鏡検診の開始に伴い、当院としてもこの事業に参加・協力させていただき、市民の方の健康維持および胃がんの早期発見・早期治療に尽力させていただくこととなりました。

関心をお持ちの方、検診を受けてみようと思われる方は、ぜひ当院での内視鏡検査をご検討ください。

和泉市では、平成30年度から、胃がん（内視鏡検査）検診にて鎮静剤を使用しない方針となりました。どうぞ、ご了承下さい。生検に関しては、従来どおりご要望にお応えする体制を整えております。

□ 実施期間

令和元年5月1日～令和2年2月末日

□ 対象年齢

50歳（昭和44年4月1日～昭和45年3月31日）

55歳（昭和39年4月1日～昭和40年3月31日）

60歳から80歳（昭和14年4月1日～昭和35年3月31日）までの人で
令和2年3月31日時点で偶数年齢になる人

□ 自己負担

2,000円

※ 以下の方は対象外となります

- ・今年度、胃X線検査（バリウム）を受けられた人
また、会社で定期検診を受けている人（予定を含む）
- ・消化性潰瘍などの胃疾患で治療中の人（ヘリコクター・ピロ除菌中の人を含む）
- ・胃全摘術後の人 ・抗血栓薬内服治療中の人

予約から結果報告までの流れ

① 予約

お電話にてご予約をお取りさせていただきます。

電話番号：0725-55-1919（代表）

受付時間：月～金曜日 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：00

予約を変更・キャンセルされる場合は、できるだけ早めにご連絡ください。



② 資料確認

当院ホームページの「新着情報」に検診に関する資料を掲載させていただいております。資料を印刷して、内容をよくお読みいただき、「胃がん（内視鏡検査）検診 チェック項目」のみご記入をお願いいたします。

印刷できない方は、検査当日、病院でご記入させていただきます。

資料（合計5枚）

- ・和泉市胃がん（内視鏡検査）検診のご案内
- ・予約から結果報告までの流れ
- ・胃がん（内視鏡検査）検診 チェック項目
- ・和泉市胃がん（内視鏡検査）検診同意書



③ 検査前日および当日

検査前日

- ・検査前日の21時以降は絶飲食をお願いいたします。

検査当日

- ・朝から絶飲食をお願いいたします。
- ・喫煙される方は、喫煙をお控えください。
- ・血圧のお薬や心臓のお薬は朝6時までに服用してください。
- ・糖尿病のお薬を服用されている方は、検査当日の朝は服用を中止してください。インスリンの使用は、必ず、主治医とご相談ください。

④ 来院

予約時間の1時間前に南館1階 総合受付へお越しください。

□ 持ち物

- ・ 胃がん（内視鏡検査）検診 チェック項目
- ・ 診察券（当院に受診歴のある方）
- ・ 健康保険証、医療証
- ・ お薬手帳（お持ちの方）



⑤ 検査に関する説明および検査の準備

- ・ 検査に関する説明・同意書の確認をさせていただきます。
- ・ 急患等の対応で検査時間が遅れる場合もありますがご了承ください。



⑥ 検査



⑦ 帰宅



⑧ 検査結果

約1ヶ月後にご自宅へ検査結果が郵送されます。

検査結果で2次検査が必要な場合は、2次検査を受けていただきます。



社会医療法人 啓仁会

咲花病院

胃がん（内視鏡検査）検診 チェック項目

胃がん（内視鏡検査）検診を受診していただくにあたり、ご本人様にご確認させていただきたい項目です。以下の各項目のチェックをお願いいたします。

① カメラの種類について

- 口から希望 鼻から希望 詳しい説明を受けたい

② 生検（顕微鏡検査）の希望について

※ 別途料金（保険診療）が必要です。

3割負担：1臓器 約4,000円、2臓器 約7,500円

1割負担：1臓器 約1,400円、2臓器 約2,500円

- 必要であれば希望する 希望しない 詳しい説明を受けたい

③ ピロリ菌検査の希望について

※ 別途料金（保険診療）が必要です。

3割負担：約2,100円

1割負担：約 700円

- 希望する 必要であれば希望する 希望しない
 詳しい説明を受けたい

和泉市胃がん（内視鏡検査）検診同意書

- ・市が実施する胃がん検診（内視鏡検査）を受診すること。
- ・精密検査が必要となった場合、精密検査・治療内容について、ご本人および精密検査実施医療機関に市から問い合わせを行うこと。
- ・市・検診実施医療機関において、検査結果・精密検査結果・治療内容を保管すること。
- ・検査結果および精密検査結果の情報は、市民の健康管理および検査の精度管理・評価(学術的報告含む)のために活用すること。
- *市・検診実施医療機関は、検査結果・精密検査結果・治療内容の情報について、上記の目的以外の用途では使用しません。
また、結果については統計的に処理し、個人が特定されることのないよう取り扱い、精度管理・評価に活用いたします。

【胃がん検診の目的と方法】

胃がん検診は、症状がない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われています。その方法には、バリウムを用いる方法（胃X線検査）と内視鏡を用いる方法（胃内視鏡検査）があり、いずれもその効果が証明されています。また、両者の方法には、良いところと悪いところがあります。

【偶発症について】

偶発症が発生する頻度は、10万件に87件と全国調査により報告されています。この中には鼻出血などの軽微なものから入院例まで含まれています。現在胃内視鏡検診による死亡事故は報告されていませんが、ごくまれに死亡の可能性もあります。

胃内視鏡では、以下の偶発症がおきる可能性があります。

- ①胃内視鏡により粘膜が傷つくことや、出血、穿孔（穴があくこと）
- ②生検による出血、穿孔
- ③薬剤によるアレルギー（呼吸困難、血圧低下）
- ④検査前からあった疾患の悪化（症状の出ていなかった疾患も含む）

なお、当施設では、偶発症の防止のために十分な注意を払うとともに、偶発症が発生した場合には最善の対応をいたします。

平成 年 月 日 説明医師名

上記の事項について、説明を受け理解しましたのでその実施に同意いたします。
 平成 年 検査当日、病院にてご記入していただきますので、事前にご記入して
 いただく必要はありません。 氏名 (自署)

【胃内視鏡検査における精密検査（生検）について】

内視鏡検査中に病変が疑われた場合には、診断を確定させる為に保険診療で精密検査として組織の一部を採取する生検をすることが望ましい場合があります。

実施した場合ごくまれですが、組織を取った後に出血が止まらないことがあります。また食道と胃の間が裂けたり、胃壁に穴があいたりすることがあります。

生検により粘膜に傷ができますので、検査後当日の食事はやわらかい消化の良いものを食べアルコール、コーヒーなどは避けてください。過激な運動、長湯、旅行などもさける必要があります。

実施は保険診療となり、市の検診費用の他に別途料金が必要になります。

(3割負担で4,000円～5,000円程度)

*上記金額は、ひとつの臓器の場合です。(例えば胃と食道で生検をした場合、2臓器となり金額が倍になります。)

内視鏡検査実施にあたって
 こちらは、検査当日、病院にてご記入していただきますので、事前にご記入して
 生検の実施を希望しますか する しない
 いただく必要はありません。